

<領域：人間と社会>

人間の尊厳と自立

問題 1 次の記述のうち，介護福祉職がアドボカシー(advocacy)の視点から行う対応として，**最も適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 介護を行う前には，利用者に十分な説明をして同意を得る。
- 2 利用者の介護計画を作成するときに，他職種に専門的な助言を求める。
- 3 利用者個人の趣味を生かして，レクリエーション活動を行う。
- 4 希望を言い出しにくい利用者の意思をくみ取り，その実現に向けて働きかける。
- 5 視覚障害者が必要とする情報を，利用しやすいようにする。

問題 2 Aさん(83歳, 女性, 要介護3)は, 脳梗塞(cerebral infarction)の後遺症^{ひだりかたまひ}で左片麻痺があり, 介護老人福祉施設で生活している。家族から, 「できることは自分で行ってほしい」と希望があり, Aさんは自室から食堂まで車いすで自走することを日課としている。

1週間前から, 介護福祉士養成施設の学生がAさんのフロアで実習を開始した。数日前からAさんは実習生に, 「今日は腕が痛いので, 食堂まで車いすを押してください」と依頼するようになった。悩んだ実習生は, 実習指導者に相談をした。

実習生に対する実習指導者の最初の助言として, **最も適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 「Aさんの腕は痛くないので, 気にしないでください」
- 2 「どのようなときも, Aさん自身で行ってもらう必要があります」
- 3 「ご家族から自分で行うように, 言われています」
- 4 「それは自立につながらないので, 車いすを押さないでください」
- 5 「Aさんが依頼する理由を, まず考えてみるのが大切です」